

一般社団法人全日本学生テニス連盟 安全・安心マニュアル

1. 目的

このマニュアルは、一般社団法人全日本学生テニス連盟（以下「本連盟」という。）が主催および運営する以下の大会（以下「主催大会」という。）において、本連盟に加盟する各地域学生テニス連盟に登録する学生の安全を確保するとともに、当該学生が安心して競技に取り組める環境を整備するために必要な事項を定めることを目的とする。

- (1) 全日本学生テニス選手権大会
- (2) 全日本学生室内テニス選手権大会
- (3) 全日本大学対抗テニス王座決定試合

2. 適用範囲

このマニュアルは、本連盟に加盟する各地域学生テニス連盟に所属する大学体育会テニス競技団体（以下「大学テニス部」という。）に適用する。また、このマニュアルは、これらの大学テニス部に所属するすべての者に活用されることを想定している。

3. 体制

大学テニス部の学生の安全確保に万全を期すために、本連盟に以下の者を置く。

(1) 安全管理責任者

主催大会に関するリスク管理全般に責任を有する者として安全管理責任者を置く。
本連盟の理事長を安全管理責任者とする。

(2) 事故対応責任者

主催大会中に発生した事故に対応するための責任者として事故対応責任者を置く。
主催大会のディレクターを事故対応責任者とする。

(3) 事故対応担当者

主催大会中に事故が発生した際に事故対応責任者の指示を受けて適切な事故対応を行う事故対応担当者を置く。主催大会のアシスタントディレクターおよび大会運営委員を事故対応担当者とする。

4. 心構え

主催大会の運営に関わるすべての者は、主催大会が安全に遂行されるよう日頃から必要な事前の対応を施すとともに、主催大会において、万一事故が発生した場合、冷静かつ迅速に対応し、事故の影響を最小限に留めるよう務め、再発防止に万全を期すものとする。

5. 平常時の対応

事前の事故予防活動として以下の対応を実施する。

(1) リスクの洗い出し

安全管理責任者は、主催大会中に発生する可能性のある事故とそれらの顕在化を防ぐための確認事項等を取りまとめた「事故のリスク一覧」（別紙1）の内容を実状に合わせて適宜更新する。

(2) 施設等の点検・改善

安全管理責任者は、主催大会の準備にあたっては、大会会場の施設管理者と連携し、「施設安全のチェックシート」（別紙2）を用いて施設、設備、用具を点検し、改善の必要な施設、設備等を特定した場合には施設管理者に必要な対応を依頼する。

(3) 保険加入

安全管理責任者は、各主催大会の開催にあたり、主催大会に出場する大学テニス部の学生および指導者を対象とした保険に加入する。

(4) 研修の実施

① 安全管理責任者は、毎年、大学テニス部の学生および指導者の安全管理意識の向上を図るため、各地域学生テニス連盟を通じて、大学テニス部の学生および指導者に対し、一般社団法人大学スポーツ協会（以下「UNIVAS」という。）が開催する安全管理に関するセミナーの聴講を指示する。

② 安全管理責任者は、前項の指示を行う際には、同セミナーのアーカイブ動画が、後日、My UNIVAS（UNIVASが提供する運動部学生向けの情報プラットフォーム）上に公開されることを紹介するとともに、聴講できなかった学生および指導者に対し、アーカイブ動画を視聴するよう要請するものとする。

(5) 事故情報・事故事例の収集・共有

① 安全管理責任者は、毎年2月を目途に、過去1年間に開催された主催大会中に発生した事故（救急車を呼んだ場合の事故に限る。）の情報を、各地域学生テニス連盟を通じて、大学テニス部に共有する。

② 安全管理責任者は、前項の事故情報の共有の際、別途可能な範囲で収集した、他の競技団体の事故情報およびメディアにて報道された事故情報を併せて共有する。

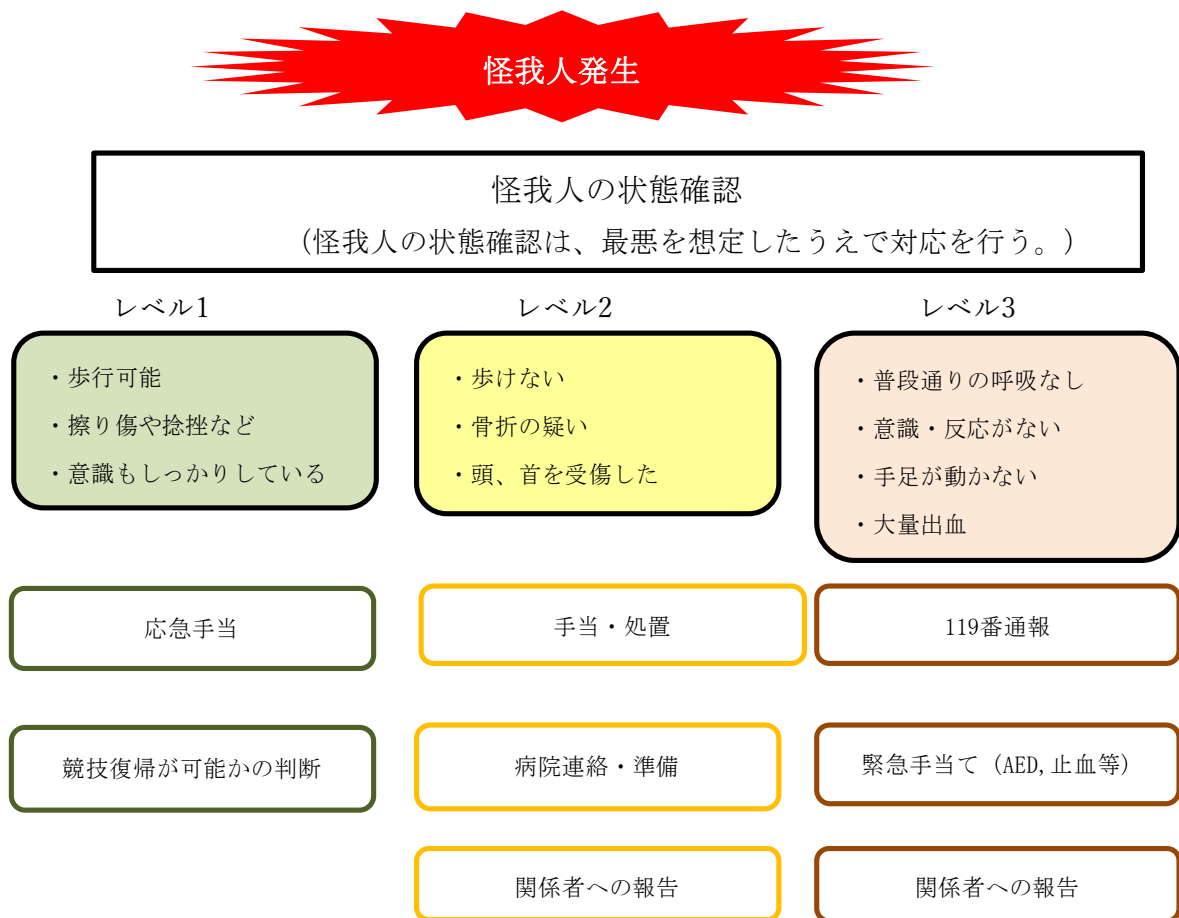
③ 大学テニス部の主将主務は、部内にてミーティングを行い、前2項により共有された事故情報を用いて所属部員の安全管理意識の向上を図る。

6. 事故発生後の初動対応

主催大会中に怪我人が発生した場合、事故対応責任者および事故対応担当者が中心となり（事故対応責任者および事故対応担当者が、怪我人が発生した現場にいない場合には、現場にいる者で協力して）、怪我のレベルに応じて以下の初動対応を行う。

主催大会に、公益財団法人日本テニス協会（以下「JTA」という。）の医事委員会から派遣されたドクターまたはトレーナーが常駐している場合は、その指示に従う。

(1) 怪我のレベルに応じた初動対応の実施



救急車を呼んだ時に必要な要員と役割！

- ・負傷者に対応する人（5～6人）
- ・AED、救護資機材を持ってくる人（1～2人）
- ・記録係（時系列、情報を紙にまとめる人）（2人）
- ・警備員に連絡し救急車を誘導する人（1～2人）
- ・健康管理室、学内の職員、教員に連絡する人（1～2人）

(2) 事故情報の報告

- ① 事故対応責任者および事故対応担当者（事故対応責任者および事故対応担当者がいない場合には、怪我人が発生した現場にいる者）は、レベル2、3と判断した場合には、怪我人の身体の安全確保（手当・処置、119番通報、病院連絡・準備、緊急手当）を行った後、電話・無線機（インカム）または「事故発生報告書」（別紙3）を用いて速やかに安全管理責任者に状況を報告する。
- ② 前項の報告を受けた安全管理責任者は、事故対応責任者および事故対応担当者とは協力して事故対応を行う。
- ③ 安全管理責任者は、「事故発生報告書」を受領した場合には適切に保管する。

7. 初動対応後の対応

発生した事故への初動対応が完了した後に、以下の対応を実施する。

(1) 原因究明・再発防止

事故対応責任者は、救急車を呼ぶ事故が発生した場合には、当該事故の初動対応が完了した後に、遅滞なく当該事故が発生した原因を特定するとともに、再発させないための防止策を検討し、その結果を「事故原因究明・再発防止策検討シート」（別紙4）にとりまとめ、安全管理責任者に提出する。

主催大会に、JTAの医事委員会から派遣されたドクターまたはトレーナーが常駐している場合は、原因の特定および再発防止について意見・助言をもらう。

- (2) 前項の検討シートを受領した安全管理責任者は、その内容を確認し、記載漏れなどがある場合には再提出を求め、記載内容が適切と判断した場合には、その旨を事故対応責任者に回答し、再発防止の徹底を指示する。
- (3) 前項の回答を受領した事故対応責任者は、関係する大学テニス部の学生に再発防止策を周知し、その徹底を指示する。
- (4) 安全管理責任者は、事故の発生原因が施設に起因するものであった場合には、大会会場の施設管理者に必要な対応を要請する。

8. ハラスメントの防止

ハラスメントの防止活動として以下の対応を実施する。

(1) ハラスメント研修の実施

- ① 安全管理責任者は、毎年、各地域学生テニス連盟を通じて、大学テニス部の学生および指導者に対し、UNIVASが開催する、ハラスメントに関するコンプライアンス研修の聴講を指示する。
- ② 安全管理責任者は、前項の指示を行う際には、同セミナーのアーカイブ動画が、後日、My UNIVAS上に公開されることを紹介するとともに、聴講できなかった学生および指導者に対し、アーカイブ動画を視聴するよう指示するものとする。

(2) ハラスメントに関する相談窓口の周知

- ① 安全管理責任者は、JTAの通報・相談窓口について、各地域学生テニス連盟を通じて、大学テニス部の学生に対し周知する。
- ② 安全管理者は、学外に設置された相談窓口として、各地域学生テニス連盟を通じて、「UNIVAS相談窓口のご案内」（別紙5）を配布することによりUNIVAS相談窓口を紹介する。

9. マニュアルの閲覧環境の整備

安全管理責任者は、大学テニス部の学生および指導者がこのマニュアルをいつでも閲覧できるよう、本連盟のホームページに最新版を掲載する。

10. マニュアルの改廃

このマニュアルの改廃は、業務執行理事会の決議により行う。

以上

制定・改定履歴

制定 2024年11月24日

事故のリスク一覧

策定日 2024年11月24日

プレーに関連する事故	
事故の種類	事故を顕在化させないためのチェックポイント
施設、用具の整備に起因する事故	<input type="checkbox"/> 破損、危険な突起物の有無の確認
	<input type="checkbox"/> 倒れる危険性のあるものの固定状況の確認
	<input type="checkbox"/> 緩み、腐食、水濡れの確認
施設・用具の配置に起因する事故	<input type="checkbox"/> 適切な活動人数の考慮
	<input type="checkbox"/> 安全を確保した用具の準備
	<input type="checkbox"/> 安全な動線の確保（安全な配置）
	<input type="checkbox"/> 良好な環境の確保（照明、換気など）
健康・身体能力の管理に起因する事故	<input type="checkbox"/> 無理をさせない
	<input type="checkbox"/> 睡眠不足・疲れが残っていないか
	<input type="checkbox"/> 不安定な心理状態でないか
	<input type="checkbox"/> 心疾患はないか
	<input type="checkbox"/> 試合、競技を安全に行うためのスキルは十分か
気象状況	<input type="checkbox"/> 雷鳴が聞こえたら試合を中断・避難する 最後の雷鳴を聞いてから30分経過するまでは試合を再開しない
	<input type="checkbox"/> 熱中症の予防（暑熱下での対策）は十分か（対策例：健康情報管理システムHeaLoの利用、休憩室・テント・クーラーボックス等の用意、ヒートルールの採用、メディカルルールの適用など）
その他	<input type="checkbox"/> 特に冬季活動時、十分な準備運動を行っているか
	<input type="checkbox"/> 頭のケガの場合、軽微な事故でも注意（影響が後で出る可能性）

施設に起因する事故	
事故の形態	確認事項
転落事故	<input type="checkbox"/> 立入禁止場所の把握、施錠
	<input type="checkbox"/> 危険個所には防護柵が設置してあるか、破損個所はないか
	<input type="checkbox"/> 屋上（転落する可能性がある部分の有無）
	<input type="checkbox"/> 天窓
	<input type="checkbox"/> バルコニー
	<input type="checkbox"/> 低い手すり
	<input type="checkbox"/> 窓（大きく開放する窓の下に椅子等はないか）
	<input type="checkbox"/> ひさし
	<input type="checkbox"/> 吹き抜け（ネット等が設けてあるか）
	<input type="checkbox"/> マンホールや側溝の蓋（開放・ずれはないか）
衝突事故	<input type="checkbox"/> 石、金属の露出
	<input type="checkbox"/> 面取りしていないコンクリートが露出している柱
	<input type="checkbox"/> 大きなガラス（視認性の確保等）
転倒事故	<input type="checkbox"/> 水濡れ（雨漏り等）
	<input type="checkbox"/> 床材の剥がれ
挟まれ事故	<input type="checkbox"/> 扉、窓、戸袋等の隙間
	<input type="checkbox"/> 防火扉、シャッター
	<input type="checkbox"/> 門扉
	<input type="checkbox"/> その他、開口部
落下物による事故	<input type="checkbox"/> 天井材、外壁材
	<input type="checkbox"/> 天井への設置物（照明、テレビ等）
	<input type="checkbox"/> 書棚等への収容物
倒木、落枝	<input type="checkbox"/> 枯れた樹木、根のはり具合（根が腐っていないか）
	<input type="checkbox"/> 強風で折れた枝の落下

施設安全のチェックシート

確認日	
確認者	

施設名等	チェック項目	チェック欄	備考
基本項目	救護室（医務室またはトレーナー室）がある	<input type="checkbox"/>	
	応急救護用品・担架・車椅子がある	<input type="checkbox"/>	
	AEDがあり、使用可能な状態である	<input type="checkbox"/>	
	WBGT計が、必要数量ある	<input type="checkbox"/>	
	緊急車両の侵入経路が確保されている	<input type="checkbox"/>	
	避難経路が確保されている	<input type="checkbox"/>	
	非常口付近に障害物がない	<input type="checkbox"/>	
	消火器・消火栓、防火シャッター付近に障害物がない	<input type="checkbox"/>	
テニスコート	コートサーフェスの表面は平面である	<input type="checkbox"/>	
	コートに凹凸（剥がれ等）がない	<input type="checkbox"/>	
	並列するコート間の距離は十分にある	<input type="checkbox"/>	
	コートのライン外の広さは十分確保されている	<input type="checkbox"/>	
	ネットポストに傷みや腐食がない	<input type="checkbox"/>	
	ネット、ストラップに傷みがない	<input type="checkbox"/>	
	ネット・ワイヤーに傷み、腐食、ささくれ等がない	<input type="checkbox"/>	
	シングルス・スティックに傷み、ささくれ等がない	<input type="checkbox"/>	
	照明の照度は十分にある	<input type="checkbox"/>	
	審判台に損傷が見られず、安定して設置できる	<input type="checkbox"/>	
室内コートの空調、換気は適切である	<input type="checkbox"/>		
施設共通	事故のリスク一覧（別紙1）の「施設に起因する事故」の確認事項にもとづきチェックする	<input type="checkbox"/>	

※改善の必要な施設・設備等を特定した場合、その内容を記事欄に記入する。

記事欄

事故発生報告書 (第 報)

事故発生日時	年 月 日 () 午前・午後 時 分	
事故発生場所	施設名 (住所)・発生場所	
事故の内容	事故の詳細・経緯 負傷者の有無・程度 負傷者 (有・無) → 有の場合 () 名	
事故の経緯	時 分 時 分 時 分 時 分	(事故発生) (発見) (通報)
※「いつ、どこで、 誰が、どうした」を明 記すること		
作成者	(所 属) (氏 名) (連絡先)	
作成日時	年 月 日 () 午前・午後 時 分	

事故原因究明・再発防止策検討シート

安全管理責任者 御中

報告日		
報告者	所属	
	氏名	

事故発生日時	年 月 日 () 午前・午後 時 分
事故発生場所	施設名 (住所)・発生場所
事故の内容	事故の詳細・経緯 負傷者の有無・程度 負傷者 (有・無) → 有の場合 () 名
事故の経緯 ※「いつ、どこで、 誰が、どうした」を明 記すること	(事故発生) (発見) (通報)
原因	
再発防止策	
コメント	



UNIVAS相談窓口は、大学生の皆さんが大学スポーツに健全に取り組むことができる環境を整備するためにUNIVASが設置した相談窓口です。本窓口は、選手や、マネージャー、コーチ等の学生スタッフとして、UNIVASに加盟する大学または競技団体に所属し、大学スポーツに取り組む学生または大学卒業もしくは所属後3年を経過しない皆さん、その親族、指導者及びチームスタッフの方が無料でご利用頂けます。

■相談できる内容について

監督、コーチ、顧問等の指導者、サポートスタッフ、選手などの大学スポーツ関係者が関与する以下の行為について、相談を行うことができます。

- ・暴力、暴言、脅迫及び威圧等、競技の範囲を超えて学生に身体的又は精神的苦痛を与える行為（パワハラ行為）
- ・学生に不快感を与える性的な言動（セクハラ行為）
- ・差別、義務のない行為の強要、試合の不正操作、ドーピング等、大学スポーツにおける正当又は健全な活動を、直接又は間接的に妨害する行為
- ・その他、大学スポーツに関連して行われる違法行為、加盟団体規則違反行為またはそれらに準じる社会規範に照らして不適切な行為

■相談の流れ



UNIVAS 相談窓口へご相談頂く際は、ウェブフォームでご連絡ください。



<https://www.univas.jp/soudan/>